

Rotary
Club of Nagoya Meieki

クラブ会長スローガン「ロータリーを知ってもらおう」

方針「ロータリアンとして尊敬される場面を想像しよう」
「ロータリアンとしての誇りをもって行動しよう」イマジン
ロータリー名古屋名駅ロータリークラブ
承認：1991年4月17日
例会日：水曜日 12:30～
例会場：名鉄グランドホテル会長：菅垣 建
副会長：長澤正志
幹事：宮下一成
クラブ会報：長谷川徹2022-23 年度 R.I. 会長
ジェニファー E. ジョーンズ

●名古屋名駅ロータリークラブ 事務局：TEL.052-433-8160 FAX.052-433-8161 E-mail: meiekirc@f5.dion.ne.jp http://www.nagoya-meiekirc.com

第1449回例会
(明治村 碧水亭)退会式／明治村職場見学会例会
明治時代から未来への贈り物。2023年3月15日(水)
(令和5年) 晴 No.28

- 司会 浅田 淳 会場運営委員
□ ロータリーソング 清水順二 ソングリーダー委員
「四つのテスト」
□ ゲスト紹介 伊藤清志 親睦活動・家族委員長
米山奨学生 趙 小敏さん

- 出席報告 森畑 明出席・ニコボックス委員長
会員数83名(免除者10名)
義務者出席41名 免除者出席3名
総数44名 出席率57.89%



会長あいさつ

菅垣 建 会長

今日は明治村での例会です。
この近くにある霊長類研究所では「チンパンジーには他人が困っている時に助けてあげたいと思う心があるか」という実験をしたそうです。

チンパンジーを隣同士の檻に入れ、片方の檻の前にはバナナを少し離れた所に置き、もう一方の檻には棒を入れます。檻の中に棒があるチンパンジーは自分から進んで棒を渡すことはないのですが、目の前にバナナがあるチンパンジーが棒をくれという動作をすると、一方はその棒を渡します。棒を受け取ったチンパンジーはそれを使ってバナナを取って食べました。しかし、棒をくれたチンパンジーにバナナを分けることはないそうです。霊長類研究所はその他にも色々な実験から、人間以外の霊長類にはお互いに助け合う心はないのではないかと結論づけたそうです。

チンパンジーと違って人間には助け合いの心があります。その心はどう進化したのでしょうか。それは、我々が二足歩行を始めた時に生まれたと考えられています。二足歩行になると女性の骨盤が丸形から横楕円形に変わり、また、脳・頭も大きくなったため、人間以外の哺乳類は自分だけで出産できるのです

が、人間は1人で出産することが難しくなりました。
このようにお産の際に必ず人の助けが必要となったことで助け合いの心が芽生えた、というのが現在の学説です。

□ 幹事報告 宮下一成 幹事

- (1) 鈴木 歩さん、浦沢知行さん、鳩山 学さんの退会が持ち回り理事会で承認されました(鈴木さん・鳩山さん3/29付、浦沢さん3/31付)。退会式は3月29日(水)。※鈴木さんは赴任後のためご欠席。
(2) 次週22日(水)は休会です。

□ 退会式

◇ サヨナラロータリオン斉唱 清水順二 ソングリーダー



城戸茂樹さん

野村證券とアライアンスを結んでいる徳島の阿波銀行に出向することになりました。もう54歳です。ので残りの会社人生は徳島に骨を埋めるつもりで、家内と一緒に早く徳島県民に溶け込みたいと思います。ロータリーでの4年間のうち3年間はコロナ禍にあり、夜の親睦ができなかったのは残念ですが、この4年間で私の人生の糧として、引き続き頑張って参りたいと思います。徳島にお越しの機会には是非お声掛け下さい。本当にありがとうございました。

◇ パナー贈呈

菅垣 建 会長

3月は水と衛生月間です

< 例会開催予定 >

◇ 第1450回 3月29日(水) 通常例会(和食弁当)
退会式 3名 石川正裕さん 浦沢知行さん 鳩山 学さん
米山奨学生 趙小敏さん 奨学期間終了卓話
山田晃也カウンセラーへ花束贈呈

【例会後】第9回理事会
3月22日(水) 台北建成RC創立26周年記念式典

◇ 第1451回 4月5日(水) 通常例会(和食弁当)
誕生日・結婚記念日祝福 「ロータリーの友」紹介
入会式 委員会報告「台北建成RC訪問」
【例会後】第1回次期理事会

3月22日(水) 休会 クラブ休日/定款第7条第1節(d)(1) 3/23祝日分

職場見学会について

職業奉仕委員会

柴 芳郎委員長

皆様の運の強さのおかげで、素晴らしい晴天となりました。今日この後、職場見学会のガイドツアーを行います。その前に明治村における色々な取り組みについてご説明を頂きます。ではお願いします。

◇「明治村の社会奉仕」

公益財団法人 明治村
事務局長 三好 学様



まずクイズを出させていただきます。

Q：明治村を運営しているのは名古屋鉄道である。A：×。正確には公益財団法人明治村という公益財団法人が運営しています。

Q：明治村はテーマパークだ。A：△。確かにテーマパークのようにお客様に楽しんで頂いている面もありますが、あくまでもテーマパークの要素のある博物館です。博物館法という法律で博物館として認定されています。

Q：明治村の社会奉仕とは歴史的建造物を保存することである。A：○。しかし、なぜ古い建物を残すことが社会奉仕になるのでしょうか。その答えは明治村の誕生の経緯にあります。

明治を代表する建物・鹿鳴館が1940年、太平洋戦争の少し前に解体されました。建築家の谷口吉生さんはそれに反対し、未来への贈り物となる建物が失われていいのか、と新聞に寄稿しました。

その後も戦災や戦後の高度経済成長で古い建物はどんどん失われていきました。1960年頃、大学の同窓会で谷口さんは同級生だった当時名古屋鉄道副社長の土川元夫さんにその話をしました。土川さんは谷口さんの話に感銘を受け、犬山にある名鉄の土地に移築して村を作ったらどうだ、と言いました。そして1965年に生まれたのが明治村です。

谷口さんは明治時代の建物だけでなく、人々が使っていた家具、所持品などを未来への贈り物と呼びました。なぜでしょう。それは明治村の設立趣意書に書いてあります。明治時代、鎖国から一気に

欧米文化を吸収しようと新しい一歩を踏み出しました。当時の建物や物＝「足跡」を知ることは、現代の我々にも明日に向かって新しい一歩を踏み出す力を与えてくれます。だから、それを残し伝えることが未来への贈り物になるのだ、と谷口さんは仰ったのです。そしてそれが明治村の社会奉仕です。

この後、皆様には実際にガイドが村内をご案内しますが、是非何かしら明治時代からの贈り物を受け取ってお帰り頂きたいと思えます。

最後に少し宣伝です。歴史的建造物などを残し続けるには非常にお金がかかります。明治村を支えて頂ける個人・法人の方を広く募集しておりますので、宜しくお願いします。



◇職場見学会

例会後、3班に分かれ、ガイドさんの案内で村内を見学しました。



ニコボックス

森畑 明出席・ニコボックス委員長

- 今日は楽しい日になりますように。(菅垣 建さん)
- 城戸さん、お世話になりました。(長澤正志さん)
- 45年ぶりの明治村です。来たかったので幸せです。柴さん、ありがとうございます。(宮下一成さん)
- 本日の明治村散策、楽しみにしています。(浅田 淳さん)
- 城戸さん、委員会では大変お世話になりました。またお会いできるのを楽しみにしております。(近藤かえでさん)
- 明治村、何とかたどり着きました。職業奉仕委員会の皆様、ありがとうございます。(西川達郎さん)
- 爽やかな明治村での例会、嬉しいです。城戸さん、徳島へ行きますネ。(神野重行さん)
- 明治村での職場見学会、皆様のおかげをもちまして晴天にも恵まれまして、開催することができました。ありがとうございました。(柴 芳郎さん)
- バスご乗車の皆様よりご芳志を頂きました。(林 裕二さん、日比野三吉彦さん、広井幹康さん、飯田容子さん、川村勝廣さん、河端裕志さん、小室健次郎さん、森 美穂さん、中村 修さん、小川洋子さん、大橋昭治さん、清水順二さん、田辺伸生さん、田中敏晶さん、寺西英宏さん、古田昇平さん、森畑 明さん)

